

38 [2012 弘前大]

点(a, b)は円周 $x^2+y^2=1$ 上を動くとする。

- $t=a+b$ とおくと、 $a+ab+b$ を t の式で表せ。
- $a+ab+b$ の最大値と最小値を求めよ。また、そのときの $t=a+b$ の値をそれぞれ求めよ。

$a^2+b^2=1$ より

$(a+b)^2-2ab=1$

$2ab=t-1$

$\therefore ab=\frac{t-1}{2}$

$a+ab+b=t+\frac{t-1}{2}=\frac{t^2}{2}+t-\frac{1}{2}$

① $g^2=(a+b)^2+ab=0$ とおくと

$g^2=t^2+\frac{t-1}{2}=0$

$2g^2=2t^2+t-1=0$

の2解 t_1, t_2 は a, b である。

a, b は2変数であるから判別式 $\Delta \geq 0$ とおくと $D \geq 0$ より

$\Delta = t^2 - 2 \geq 0$

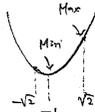
$\therefore -\sqrt{2} \leq t \leq \sqrt{2}$ ← 判別式法で求める

$a+ab+b=\frac{t^2}{2}+t-\frac{1}{2}$

$=\frac{1}{2}(t+1)^2-1$ より

最大値 $\sqrt{2}+\frac{1}{2}$ ($t=\sqrt{2}$)

最小値 -1 ($t=-1$)



注

$a^2+ab+b^2=\frac{t^2}{2}+t-\frac{1}{2}$ ($-\sqrt{2} \leq t \leq \sqrt{2}$)

例として $t=2$ とおくと

$a^2+ab+b^2=\frac{2^2}{2}+2-\frac{1}{2}=3$ と定数値である。

これを a, b として

$2S^2-4S+9=0$

$\therefore S=\frac{2 \pm \sqrt{20}}{2}=a, b$

で a, b は定数である。

a, b は定数であるから判別式 $\Delta \geq 0$ とおくと

$a^2+ab+b^2=\frac{7}{2}$ と定数値である。

よって a, b は定数であるから判別式 $\Delta \geq 0$ とおくと (定数値)

定数値である。

39 [I. 1997 日本女子大 II. 1997 関西学院大]

I. x, y が方程式 $x^2+y^2-2(x+y)-6=0$ を満たすとき

- $x+y$ のとりうる値の範囲を求めよ。
- $x+y-2xy$ の最大値を求めよ。

II. 変数 x, y は $x^2+y^2=1, x>0$ を満たす実数とする。

- $t=x+y$ とおくと、 t のとりうる値の範囲を求めよ。
- $S=3x^2+8xy+3y^2$ とおくと、 S の最大値、最小値およびそのときの x, y の値を求めよ。

40 [I. 2011 神戸大 II. 2011 慶応義塾大]

I. 実数 x, y に対して、等式 $x^2+y^2=x+y$ ……① を考える。 $t=x+y$ とおく。

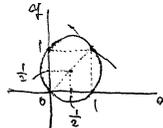
- ① の等式が表す xy 平面上の図形を図示せよ。
- x と y が① の等式を満たすとき、 t のとりうる値の範囲を求めよ。
- x と y が① の等式を満たすとする。 $F=x^3+y^3-x^2y-xy^2$ を t を用いた式で表せ。また、 F のとりうる値の最大値と最小値を求めよ。

II. xy 平面上に、円 $(x-1)^2+(y-1)^2=4$ と、その円上を動く点 $P(x, y)$ がある。

- $x+y=t$ とおくと、 t のとりうる値の範囲を求めよ。
- xy を t の式で表せ。
- x^3+y^3 のとりうる値の範囲を求めよ。

I. ① $x^2+y^2=x+y$

$(x-\frac{1}{2})^2+(y-\frac{1}{2})^2=\frac{1}{2}$



② $xy = -x^2 + x + y^2 - y$ とおくと t の範囲を求める。

$0 \leq t \leq 2$

③ $F = x^3 + y^3 - x^2y - xy^2$

$t = x+y$ より

$t^2 = x^2 + y^2 + 2xy$

$= x^2 + y^2 + 2xy$

$\therefore xy = \frac{t^2 - t}{2}$

よって

$F = (x+y)^3 - 3xy(x+y) - xy(x+y)$

$= (x+y)^3 - 4xy(x+y)$

$= t^3 - 2t \cdot \frac{t^2 - t}{2} \cdot t$

$= t^3 - t^3 + t^2 = t^2$

$f(t) = -t^2 + 2t^2$ ($0 \leq t \leq 2$) とおくと

$f(t) = -t^2 + 4t$

$= -t^2 + 4t$

$f(t) = 0$ とおくと $t = 0, \frac{4}{3}$

t	0	4/3	2
f(t)	0	16/9	0



$t = \frac{4}{3}$ が t の範囲内

最大値 $f(\frac{4}{3}) = \frac{16}{9}$

$f(0) = 0, f(2) = 0$ より

最小値 0

41 [I. 横浜市立大 II. 2014 近畿大 III. 2012 名古屋市立大]

I. x, y が $x \geq 0, y \geq 0$ かつ $x^2+y^2=2$ を満たしながら動くとき、 x^3+y^3 のとりうる範囲を求めよ。

II. 条件 $(x-2)^2+(y-2)^2=4$ を満たす実数 x, y を考える。 $t=x+y$ とおく。

(1) t のとりうる値の範囲は

$\sqrt{\square} - \sqrt{\square} \leq t \leq \sqrt{\square} + \sqrt{\square}$ である。

(2) $z = x^3 + y^3 - 6xy$ を t で表すと

$z = -\frac{\square}{\square} t^3 + \square t^2 + \square t - \square$ となり、 z の最大値は

$\square + \square \sqrt{\square}$ であり、 z の最小値は $\square - \square \sqrt{\square}$ である。

III. 実数 x, y が $4x^2+y^2=1$ を満たすとき、次の問いに答えよ。

- $u=2x+y$ の最小値、最大値を求めよ。
- xy を u で表せ。
- $8x^3+y^3+8xy$ の最小値、最大値を求めよ。

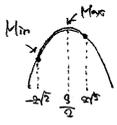
42 [2021 関西学院大]

2つの実数 x, y は関係式 $x^2 - xy + y^2 = 2$ を満たしながら動くとする。このとき、 $x + y - xy$ の最大値を求めよう。 $s = x + y$ とおくと、 xy を s の式で表すと $xy = \frac{7}{9}s - \frac{2}{9}$ である。また、 s のとりうる値の範囲は $-\sqrt{2} \leq s \leq \sqrt{2}$ である。したがって、 $x + y - xy$ の最大値は $\frac{17}{12}$ である。

$$\begin{aligned} x^2 - xy + y^2 &= 2 \\ (x+y)^2 - 3xy &= 2 \\ 3xy &= s^2 - 2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} t &= (x+y) + xy = s + xy \\ t &= s + \frac{s^2 - 2}{3} = 0 \text{ の } 2 \text{ 解 } \sqrt{2}, -\sqrt{2} \\ \therefore s &\in [-\sqrt{2}, \sqrt{2}] \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} x+y-xy &= s - \frac{s^2 - 2}{3} \\ &= -\frac{s^2}{3} + s + \frac{2}{3} \\ &= -\frac{1}{3} \left(s - \frac{3}{2} \right)^2 + \frac{17}{12} \end{aligned}$$



の最大値は $\frac{17}{12}$

43 [2004 大阪教育大]

x と y は $x^2 + xy + y^2 = 1$ を満たす実数とする。また、 $w = xy - x - y$ とする。
 (1) $p = x + y$ とするとき、 w を p で表せ。
 (2) 実数 x と y が $x^2 + xy + y^2 = 1$ を満たして動くとき、 w のとりうる値の範囲を求めよ。

44 [2010 防衛大学校]

実数 x, y について、関係式 $x^2 + xy + y^2 = 3$ が成り立つとする。
 (1) $x + y = s, xy = t$ とおくと、 t を s の式で表せ。
 (2) s のとりうる値の範囲を求めよ。
 (3) $x^2 + y^2 + x + y = k$ とおくと、 k を s の式で表せ。
 (4) k のとりうる値の最大値 M と最小値 m を求めよ。

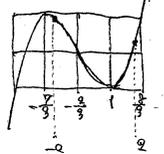
45 [2023 高知大]

実数 x, y が $x^2 - xy + y^2 - 1 = 0$ を満たすとする。また、 $t = x + y$ とおく。
 (1) xy を t を用いて表せ。
 (2) t のとりうる値の範囲を求めよ。
 (3) $3x^2y + 3xy^2 + x^2 + y^2 + 5xy - 6x - 6y + 1$ のとりうる値の範囲を求めよ。

$$\begin{aligned} x^2 - xy + y^2 - 1 &= 0 \\ (x+y)^2 - 3xy - 1 &= 0 \\ 3xy &= t^2 - 1 \\ \therefore xy &= \frac{t^2 - 1}{3} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} 3x^2y + 3xy^2 + x^2 + y^2 + 5xy - 6x - 6y + 1 &= 0 \\ 3t^2 - 3t + \frac{t^2 - 1}{3} - 6t + 1 &= 0 \\ \frac{t^2 - 1}{3} - 6t + 1 &= 0 \\ t^2 - 1 - 18t + 3 &= 0 \\ t^2 - 18t + 2 &= 0 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} f(t) &= t^2 - 18t + 2 \\ f(t) &= 0 \text{ と解くと } t = \frac{18 \pm \sqrt{324 - 8}}{2} = 9 \pm \sqrt{80} \end{aligned}$$



$$\begin{aligned} f(t) &= -4, f(9) = -4, f(t) = 2 \text{ 以上} \\ -4 &\leq f(t) \leq 2 \end{aligned}$$

46 [I. 2009 同志社大 II. 2012 京都大]

I. 実数 x, y が $x^2 + xy + y^2 = 1$ を満たすとき、次の問に答えよ。
 (1) $x + y = u, xy = v$ とする。 u, v の満たす関係式を求めよ。また、 u の最大値と最小値を求めよ。
 (2) $x^2 + y^2$ の最大値と最小値を求めよ。
 (3) $x^3 + y^3$ の最大値と最小値を求めよ。
 II. 実数 x, y が条件 $x^2 + xy + y^2 = 6$ を満たしながら動くとき $x^2y + xy^2 - x^2 - 2xy - y^2 + x + y$ がとりうる値の範囲を求めよ。

47 [信州大]

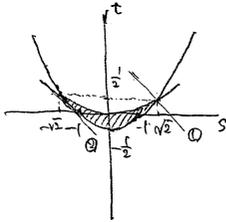
点 (x, y) が領域 $\{(x, y) \mid x^2 + y^2 \leq 1\}$ を動くとする。

- (1) 点 $(x+y, xy)$ はどのような範囲を動くか、図示せよ。
- (2) $x+y+xy$ のとる範囲を求めよ。

$$\begin{aligned} & \text{d) } \begin{cases} s = x+y \\ t = xy \end{cases} \text{ とおく} \\ & x^2 + y^2 \leq 1 \text{ より} \\ & (x+y)^2 - 2xy \leq 1 \\ & s^2 - 2t \leq 1 \\ & \therefore t \geq \frac{1}{2}(s^2 - 1) \end{aligned}$$

$x^2 - (x+t)x + t = 0$ となる x が実数であるから
 $x^2 - sx + t = 0$ は x, y の解と等しい二次方程式であるから
 x, y は実数であるから
 判別式 $\Delta \geq 0$ として $D \geq 0$ より

$$\begin{aligned} s^2 - 4t & \geq 0 \\ \therefore t & \leq \frac{s^2}{4} \end{aligned}$$



$$\begin{aligned} \frac{s^2}{2} - \frac{1}{2} &= \frac{s^2}{4} \\ s^2 &= 2 \quad \therefore s = \pm\sqrt{2} \end{aligned}$$

おとる範囲は $-\sqrt{2} \leq s \leq \sqrt{2}$
 t の範囲は $-\frac{1}{2} \leq t \leq \frac{1}{2}$

e) $x+y+xy$ を求める

$$\begin{aligned} s+t &= k \text{ とおく} \\ t &= -s+k \text{ の直線が円の交点をもつときの} \\ t \text{ の範囲を求めよ} \\ \text{① a) } k &= \sqrt{2} + \frac{1}{2} \\ \text{② a) } k &= -\sqrt{2} + \frac{1}{2} \\ \frac{s^2}{2} - t &= -s+k \text{ として} \\ s^2 - 2s - 2k + 2 &= 0 \\ \text{判別式 } \Delta &= (-2)^2 - 4(1)(-2k+2) = 0 \quad \therefore k = -\frac{9}{2} \\ \text{よって} \\ -\frac{9}{2} &\leq x+y+xy \leq \sqrt{2} + \frac{1}{2} \end{aligned}$$

48 [I. 青山学院大 II. 2022 早稲田大]

I. x, y は $x^2 + y^2 < 1, x > 0, y > 0$ を満たす変数である。このとき、

- (1) 点 (x, y) の存在範囲を図示せよ。
- (2) $z = 2x + y$ の取り得る値の範囲を求めよ。
- (3) $u = x + y, v = xy$ において、点 (u, v) の存在範囲を図示せよ。
- (4) $z = x + y - 4xy$ の取り得る値の範囲を求めよ。

II. 実数 x, y が $x^2 + y^2 \leq 3$ を満たしているとき、 $x - y - xy$ の最大値は \square である。

49

- (1) 実数 x, y が $-1 < x + y < 2, 1 < x - y < 5$ をみたすとき、 $2x + y$ のとり得る値の範囲を求めよ。
- (2) $-4 \leq -x + 2y \leq 3, 3 \leq 2x - y \leq 6$ のとき、 $x^2 - 2xy + 2y^2$ の最大値と最小値を求めよ。

$$\begin{aligned} \text{d) } \begin{cases} s = x+y \\ t = x-y \end{cases} \text{ とおく} \\ -1 < s < 2, 1 < t < 5 \\ x = \frac{s+t}{2}, y = \frac{s-t}{2} \text{ より} \\ 2x+y &= 2 \cdot \frac{s+t}{2} + \frac{s-t}{2} \\ &= \frac{3}{2}s + \frac{t}{2} \\ \text{よって} \\ -1 < 2x+y < \frac{11}{2} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{e) } \begin{cases} s = x+y \\ t = 2x-y \end{cases} \text{ とおく} \\ -4 \leq s \leq 3, 3 \leq t \leq 6 \end{aligned}$$

$$x = \frac{s+2t}{3}, y = \frac{2s+t}{3} \text{ より}$$

$$\begin{aligned} x^2 - 2xy + 2y^2 &= \frac{(s+2t)^2}{9} - 2 \cdot \frac{(s+2t)(2s+t)}{9} + 2 \cdot \frac{(2s+t)^2}{9} \\ &= \frac{s^2 + 4st + 4t^2 - 4s^2 - 12st - 4t^2 + 8s^2 + 8st + 4t^2}{9} \\ &= \frac{5s^2 + 2st - 2t^2}{9} \end{aligned}$$

あとはこの最値・最小値を求める
 第1講参照

50 [I. 2008 東京女子大 II. 大同工業大 III. 2017 東京理科大]

I. 実数 x, y が $0 \leq 2x + y \leq 1$ かつ $0 \leq x - y \leq 1$ を満たす範囲を動くとき、以下のものを求めよ。

- (1) x のとりうる値の範囲
- (2) y のとりうる値の範囲
- (3) $x + y$ のとりうる値の範囲

II. 点 (x, y) は $1 \leq x + 2y \leq 2$ かつ $2 \leq 2x + y \leq 4$ を満たす範囲を動くとする。

- (1) $u = x + 2y, v = 2x + y$ とおくと、 $F = x^2 + xy + y^2$ を u, v で表せ。
- (2) u を固定するとき、 F の最大値を u で表せ。
- (3) F の最大値を求めよ。

III. (1) 等式 $x^2 + y^2 = 1$ を満たす実数 x, y を考える。 $u = 3x + y + 3, v = 2x - 2y + 3$ とするとき、 $\frac{u}{v}$ の最大値は $\sqrt{\square} + \sqrt{\square}$ であり、

最小値は $\sqrt{\square} - \sqrt{\square}$ である。

(2) $0 \leq x \leq 1, 0 \leq y \leq 1$ を満たす実数 x, y を考える。 $u = 4x - 6y + 3, v = 4x + 3y - 1$

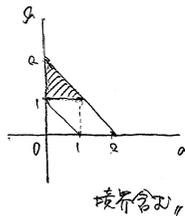
とすると、 $u^2 + v^2$ の最大値は $\frac{\square}{\square}$ であり、最小値は $\frac{\square}{\square}$ である。

51 [2011 東京都大]

2次関数 $f(x) = ax^2 + b$ (a, b は定数) について、2つの不等式 $1 \leq f(0) \leq 2$, $1 \leq f(1) \leq 2$ がともに成立しているとする。

- (1) 2つの不等式 $1 \leq f(0) \leq 2$, $1 \leq f(1) \leq 2$ を満たす点 (a, b) の領域を図示せよ。
 (2) $f(2)$ がとりうる最大値と最小値を求めよ。

$1 \leq f(0) \leq 2$ より
 $1 \leq b \leq 2$
 $1 \leq f(1) \leq 2$ より
 $1 \leq a + b \leq 2$
 $\therefore -a + 1 \leq b \leq -a + 2$



境界含む

$2) f(a) = 4a + b$
 $1 \leq b \leq 2, 1 \leq a + b \leq 2$
 $c = a + b$ とおくと $a = c - b$
 $1 \leq b \leq 2, 1 \leq c \leq 2$
 $4a + c = 4(c - b) + c = 5c - 4b$
 \therefore
 $-3 \leq f(a) \leq 6$

斜め6の直線の中

52 [I. 2009 上智大 II. 2017 大阪大]

I. 1次関数 $f(x) = ax + b$ で、条件 $3 \leq f(1) \leq 6, 4 \leq f(2) \leq 8$ を満たすものを考える。

このような1次関数 $f(x)$ の中で、 $f(5)$ が最大となるのは、 $a = \square$, $b = \square$

のときで、 $f(5) = \square$ である。また、 $f(5)$ が最小となるのは、 $a = \square$,

$b = \square$ のときで、 $f(5) = \square$ である。

II. b, c を実数とする。2次関数 $f(x) = -x^2 + bx + c$ が $0 \leq f(1) \leq 2, 5 \leq f(3) \leq 6$ を満たすとする。

(1) $f(4)$ のとりうる値の範囲を求めよ。

(2) 放物線 $y = f(x)$ の頂点の y 座標 q のとりうる値の範囲を求めよ。

(3) 放物線 $y = f(x)$ の頂点の y 座標が 6 のとき、放物線 $y = f(x)$ と x 軸で囲まれた部分の面積 S を求めよ。

第2. 第1. 問題

40

II. 1) $(x-1)^2 + (y-1)^2 = 4 \dots 1$

$x^2 + y^2 - 2(x+y) + 2 = 4$

$(x+y)^2 - 2xy - 2(x+y) + 2 = 4$

$2xy = t^2 - 2t - 2$

$\therefore xy = \frac{t^2 - 2t - 2}{2}$

$9 \leq (x+y)^2 + 4xy = 0$ となる

$9 \leq t^2 + \frac{t^2 - 2t - 2}{2} = 0$ の2解は x, y となる

x, y は実数であるから判別式 $D \geq 0$ とする

$D \geq 0 \dots 2$

$t^2 - 4t + 4 \geq 0$

$t^2 - 4t + 4 \geq 0$

$t^2 - 4t - 4 \leq 0$

$\therefore 2 - 2\sqrt{2} \leq t \leq 2 + 2\sqrt{2}$ ← 判別式 $D \geq 0$ より

a) $xy = \frac{t^2 - 2t - 2}{2}$

b) $x^2 + y^2 = (x+y)^2 - 2xy = t^2 - 2xy$

$= t^2 - 2 \cdot \frac{t^2 - 2t - 2}{2} = t$

$= -\frac{t^3}{2} + 3t^2 + 3t$

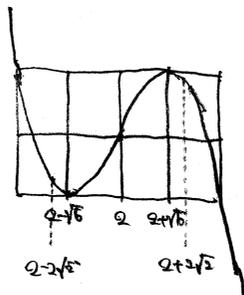
$f(t) = -\frac{t^3}{2} + 3t^2 + 3t \quad (2 - 2\sqrt{2} \leq t \leq 2 + 2\sqrt{2})$ とおく

$f'(t) = -\frac{3}{2}t^2 + 6t + 3$

$f'(t) = 0$ とすると

$t^2 - 4t - 2 = 0$

$\therefore t = 2 + \sqrt{6}$



$xy = f(t)$

$f(t) = (t^2 - 4t - 2)(-\frac{1}{2}t + 1) + 6t + 2$

$f(2 - \sqrt{6}) = 6(2 - \sqrt{6}) + 2 = 14 - 6\sqrt{6}$

$f(2 + \sqrt{6}) = 6(2 + \sqrt{6}) + 2 = 14 + 6\sqrt{6}$

よって

$14 - 6\sqrt{6} \leq xy \leq 14 + 6\sqrt{6}$